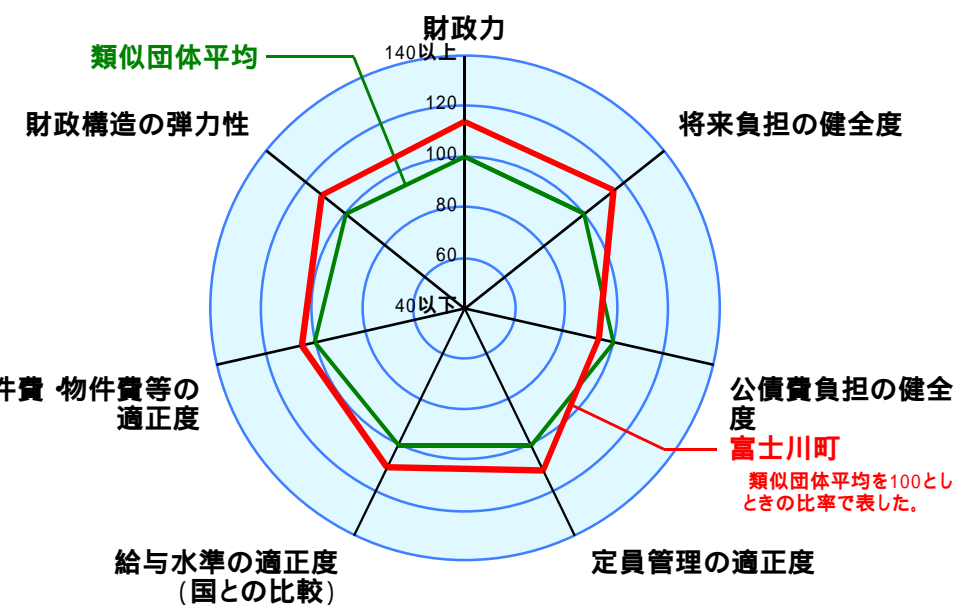
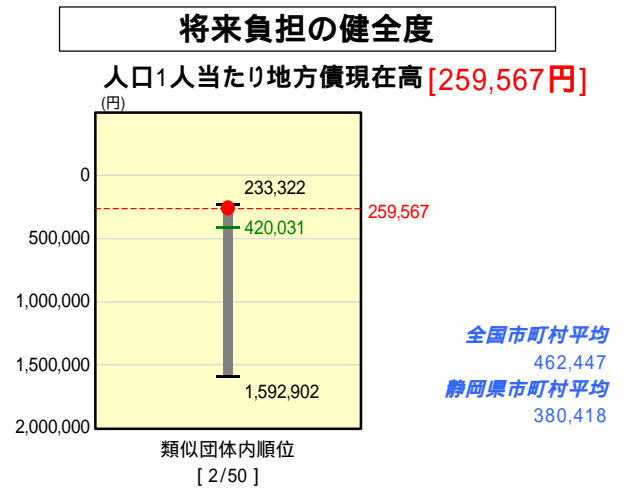
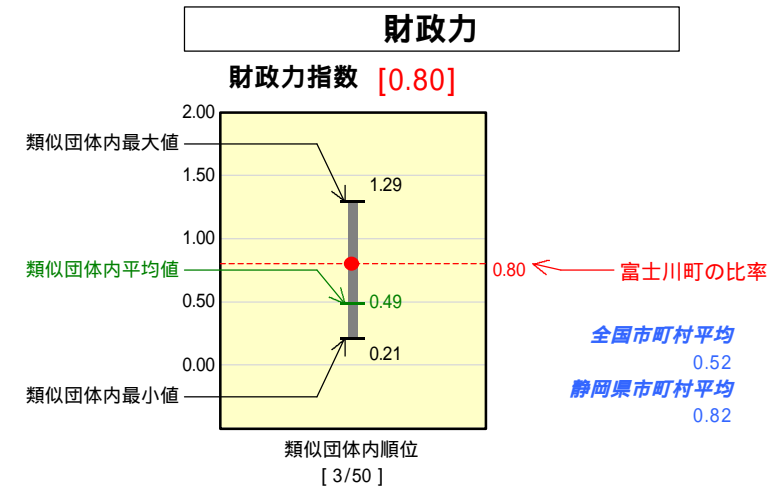


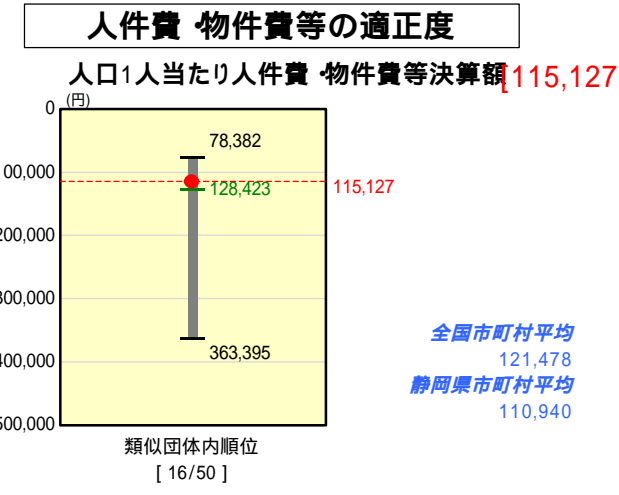
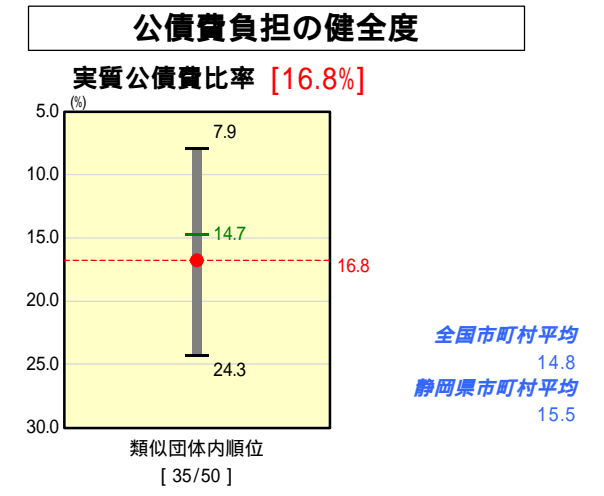
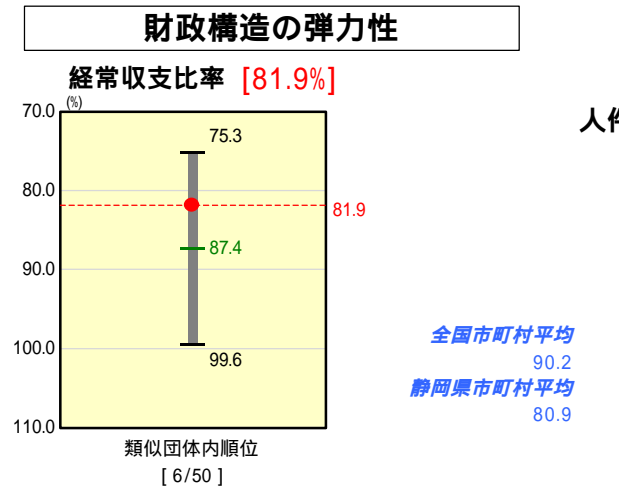
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

静岡県 富士川町

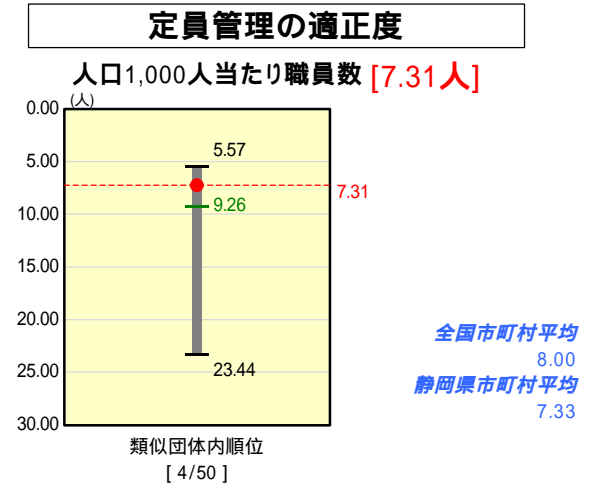
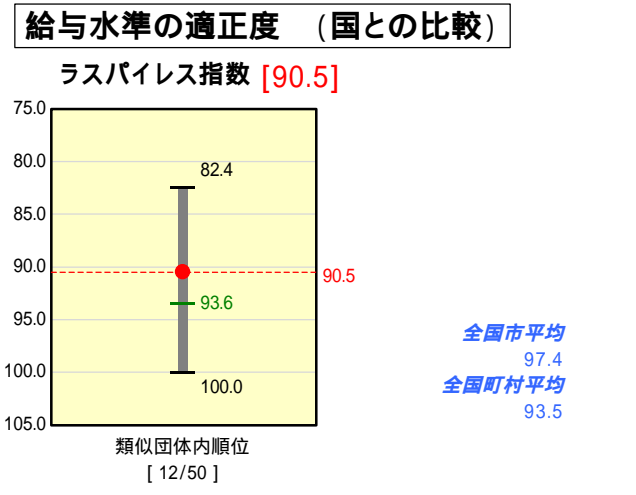
人口	17,107	人(H18.3.31現在)
面積	30.92	km ²
歳入総額	6,103,139	千円
歳出総額	5,650,907	千円
実質収支	446,697	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

【財政力指数】景気回復による法人税割の増(対前年度148.2%)や、地総債等の償還終了に伴う事業費補正の減(対前年度73.2%)等により類似団体平均を大きく上回る0.80となっている。今後は徴収組織の強化を図るなど歳入確保に努めるとともに、人件費の抑制等を行い更なる財政の健全化を図っていく。

【経常収支比率】これまで人件費の抑制に努めてきたことや、大規模建設事業に充てた地総債の償還が一部終了したことなどにより類似団体平均を下回る81.9%となっている。今後少子高齢化に伴う扶助費の増加や一部事務組合への負担金の増加が見込まれることから、更なる人件費の抑制(5年間で9.4%の削減)や補助金等の削減(5年間で15%の削減)を図るなどし、弾力的な財政構造の確立に努める。

【ラスパイレス指数】給与については、人事院勧告に準拠し適正に努めてきたことにより、類似団体平均を下回る90.5となっている。今後職員定数を削減し職員の負担が大きくなることから職員意識を低下させないために、集中改革プランでは目標値を93.7に設定した。

【実質公債費比率】地総債の償還金が15年度、16年度と大きかったため類似団体平均を上回る16.8%となったが、償還が一部終了したことにより17年度単年度では14.3%となっており、今後更に改善が見込まれる。

【人口1人当たり地方債現在高】これまで新規発行の抑制に努めてきたことや、地総債の償還が一部終了したことにより、類似団体平均を大きく下回る259,567円となっている。今後も類似団体平均を上回ることのないよう、町債の新規発行の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】事務事業の民間委託やOA化の推進等により職員数を抑制してきたことにより、類似団体平均を下回る7.31人となっているが、今後も更なる抑制を図り適正な定員管理に努めていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】人件費を抑制してきたため類似団体平均を若干下回る115,127円となっているが、今後も更なる人件費の抑制を図り適正に努めていく。